

●内視鏡検査について

内視鏡検査は、主に健康診断で任意に行う人間ドックや、がん検診の一次検診で陽性反応が出た人に対する精密検査および、痛みなどの自覚症状がある人に対しその原因をつきとめる検査として行われます。内視鏡検査の対象となる臓器は、管状、袋状の形態を持つ管腔臓器です。食道、胃、十二指腸、大腸などの消化管をはじめ、呼吸器、耳鼻咽喉、泌尿器などの検査に使われます。

●新しい胃がん検診制度について

厚生労働省「がん検診のあり方に関する検討会」の中間報告では、新しい胃がん検診制度として、現在行われている胃X線検査のほかに、胃内視鏡検査も実施することを提言しています。対象年齢は50歳以上で、2年に1回の受診を推奨する予定です。胃内視鏡検査が推奨された背景には、胃内視鏡検査の死亡率減少効果を示す研究報告が複数発表されたことがあります。

●ウェブサイト「おなかの健康ドットコム」について

アンケートを実施するオリンパス運営の健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」(<http://www.onaka-kenko.com/>)では、ウェブ上で簡易的な健康チェックが行えるほか、おなかの病気の解説や内視鏡検査の受け方など、おなかの健康に関するさまざまな情報を掲載しています。

●主なアンケート設問

・上部内視鏡検査について

Q1:これまでに上部内視鏡検査(食道、胃、十二指腸)を受けたことがありますか？

Q2:最後に検査を受けた際、どのような挿入方法で受けましたか？

Q3:最後に検査を受けたのはいつごろですか？

Q4:上部内視鏡検査を受けた理由として、あなたのお考えに最も近いものを、2つまでお選びください。

Q5:上部内視鏡検査を受けていない理由として、あなたのお考えに最も近いものを、2つまでお選びください。

Q6:あなたは、上部内視鏡検査に対して、どのようなイメージをお持ちでしょうか。

Q7:2016年度から胃がん検診制度が改定され、胃X線検査と胃内視鏡検査のどちらかを選択できるようになります。あなたはこのことをご存知でしたか？

Q8:もし、あなたが胃がん検診を受けるとしたら、胃X線検査と胃内視鏡検査のどちらを選択しますか？

Q9:Q8の選択理由として、あなたのお考えに最も近いものを、2つまでお選びください。

・大腸内視鏡検査について

Q10:これまでに大腸内視鏡検査を受けたことがありますか？

Q11:最後に検査を受けたのはいつごろですか？

Q12:大腸内視鏡検査を受けた理由として、あなたのお考えに最も近いものを、2つまでお選びください。

Q13:大腸内視鏡検査を受けていない理由として、あなたのお考えに最も近いものを、2つまでお選びください。

Q14:あなたは、大腸内視鏡検査に対して、どのようなイメージをお持ちでしょうか。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。